

飛鳥資料館のみどころ (16)

復原山田寺東回廊

飛鳥資料館の第2展示室には、山田寺の復原された東回廊が展示されています。この回廊のみどころは、何といてもレプリカではなく、重要文化財に指定されている実物の部材を組み上げて復原しているところです。

山田寺の東回廊は1982年に発掘され、当時は大きな話題となりました。この東回廊は11世紀前半におきた土砂崩れにより埋もれたと考えられています。幸いにも、地下水位が高く外気から遮断されていたため、木材の腐食が最小限に抑えられ、多くの部材が奇跡的に倒壊した当時の姿を保ったまま発掘されました。

しかし、東回廊の部材が当時そのままの姿とはいえ、木材の細胞壁を構成しているセルロースを失っているために強度が低く、乾燥すると収縮してひび割れなどを生じる可能性がありました。そこで、平城宮跡にある施設に運び保存処置を施しました。

復原展示されているものは、保存状態が良好であった三間分で、皆様に間近で造営当時の迫力ある姿を御覧頂くことができます。

山田寺は舒明13年（641）に造営が開始され、天武14年（685）に完成していますので、展示されている東回廊は、現存する世界最古の木造建築である法隆寺よりも半世紀あまり古い建築様式を示していることになります。当時の最先端の建築を物語る山田寺東回廊をご覧いただき、願主である石川麻呂が生きた飛鳥時代に思いをはせてみてはいかがでしょうか。（飛鳥資料館 成田 聖）



第2展示室の復原山田寺回廊

■ 記 録

埋蔵文化財担当者研修

○遺跡探査課程

平成21年 6月2日～5日 3名

○建築遺構調査課程

平成21年 6月15日～19日 14名

現地説明会

○平城宮第454次発掘調査

平成21年 6月20日（土） 755名

現地見学会

○飛鳥藤原第157次発掘調査

平成21年 6月21日（日） 1,134名

平城宮跡歴史文化講座（第8回）

（NPO平城宮跡サポートネットワークと共催）

平成21年 5月17日（日）午後1時30分～

於：平城宮跡資料館 講堂

「地方支配の仕組みについて」

寺崎 保広 奈良大学教授

研究集会・研究会

○東アジアにおける理想号と庭園に関する国際研究会

平成21年 5月19日（土）～21日（月）

■ お知らせ

○平城宮跡資料館休館のお知らせ

平城遷都1300年祭に向けての改装工事のため、休館しております。リニューアルオープンは平成22年4月の予定です。

○飛鳥資料館展示

夏期企画展

「甦るクメール文明」－世界文化遺産 アンコール遺跡群－撮影：BAKU 斉藤

平成21年 8月1日（土）～31日（月）

■最近の本一所員の著作から

○松井 章『バイオストーリー』第11号

「考古学の中の生き物たち」

誠文堂新光社 2009年7月

編集「奈文研ニュース」編集委員会

発行 奈良文化財研究所 <http://www.nabunken.jp/>

Eメール jimu@nabunken.go.jp

発行年月 2009年6月